

令和5年3月議会定例会 町長あいさつ

皆さん、おはようございます。本年、第2回目となります3月定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、ご多用の中、ご出席賜り誠にありがとうございます。

本定例会にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

昨今の世界情勢をみると、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まってから1年が経過しましたが、未だに解決への糸口が見えず、多くの人々が尊い命を落とされている現状に、1日も早い平和的解決を願うものでありますが、現在は膠着状態に陥り、先の見通せない状況です。

また、2月6日にトルコとシリアで発生した大地震では、現地の映像を見るたび、どれだけ多くの方々が倒壊した建物の下敷きになったのかと心が痛みます。同じ地震国として、改めて建物の耐震化や避難所整備等の重要性を認識したところであります。お亡くなりになられた方々には、心から哀悼の意を表するとともに、早期の復旧復興をお祈り申し上げます。

さて、コロナ禍となりこれで丸3年が過ぎました。昨年は第6波、第7波、第8波と度重なる感染拡大や物価高騰などへの対応など、

目まぐるしい1年でしたが、政府は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けを「2類」から今年5月8日に季節性インフルエンザと同じ「5類」に引き下げる方針を表明しました。まだ気は抜けないものの、いよいよ出口へのはっきりとした光が見え始めたと感じております。今後は、一層活力あるまちづくりを目指して、ウィズコロナ・ポストコロナへの取り組みを加速させていく所存です。また、今年4月の統一地方選挙において県議会議員選挙、町議会議員選挙が実施される重要な年でもあります。引き続きコロナ感染防止対策を講じながら、投票しやすい環境づくりにも取り組んで参ります。

こうした中、幸先の良い明るい話題として、よさこい踊りチーム「半布里」が、魅力的な地域づくり等に貢献した団体に授与される「清流ミナモ賞」を今月20日に新装なった岐阜県庁において受賞されるという吉報が入ったところです。昨年、にっぽんど真ん中祭りで大賞を受賞され、記念イベントとして「おんさいEXPO2022」を開催されたところですが、今後もますますのご活躍を心からお祈り申し上げます。

さて、本町の令和4年度の主要な事業の進捗状況でございますが、

重点主要道路整備事業を始めとする各種事業は順調に進捗しております。

特に、ジャストタウン加治田の整備につきましては造成工事を完了し、2月10日より申し込み受付を開始したところです。期限は4月13日までとなっておりますので、多くの皆様にご応募いただければ幸いです。

各種行政証明書のコンビニ交付サービス導入に向けての準備もほぼ完了し、3月中の発行テストを残すのみとなりました。マイナンバーカードを利活用した住民サービス向上のための取り組みは今後も推進して参ります。現在、本町のマイナンバーカード申請率は町民の7割を超えてきましたが、デジタル社会に欠かすことのできないこのカードの取得につきまして、皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

コロナ臨時交付金を活用した事業の進捗状況につきましては、元気振興券事業や元気米配布事業、物価高騰対策子育て支援事業などはすでに完了したところです。

プレミアム付き元気チケット事業や省エネ家電製品普及促進事業、こども園おむつ給付事業などは現在進行中であり、いずれの事業も町民の皆様から概ね好評であると聞いておりますが、問題

点につきましては検証の上、今後同様の事業を実施する機会があれば改善して参りたいと考えております。

では、令和5年度にあたり、施政方針と予算編成につきましてご説明させていただきます。

私は、町長に就任して3期目の最終年度となりますが、令和5年度も、人口増加対策や子どもを安心して産み育てられる町を念頭に、マニフェスト実現のため、行政運営をしていく決意です。また、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが「5類」に引き下げられれば、活力のあるまちづくりのため、これまで停滞した各種町事業の推進や各種団体活動の活性化支援にも積極的に取り組んでいきたいと考えております。

令和元年度に着工しました川浦川左岸線整備工事につきましては、町が施工する滝田橋から学校橋までのルートと、とみぱーく駐車場及び休憩施設が令和5年度末に完成する見込みであり、これらは大きなインパクトとなり、まちの様子を変えていくこととなると思っております。この環境をまちづくりにどう生かしていくのか、非常に楽しみにしております。

また、国の史跡として指定を受けた夕田墳墓群につきましては、保存活用計画を令和6年度までに策定し、その活用方法につきまして

て検討してまいります。町内各地でスマートフォン等を用いて昔の風景や人々の生活を仮想空間に映し出して楽しめる、そのような活用方法も検討していく予定です。

こうした一つ一つ取り組みが子どもたちに夢を与え、誰もが誇れる町になることに繋がればと考えております。

一方、12月定例議会でも申し上げましたとおり、現在、地方自治体はウイズコロナ・ポストコロナ時代への取り組み、少子化対策やデジタル化の推進、異常気象に伴い増加する自然災害への対応、職員の定年延長制度導入など大きな過渡期にあると感じおります。加えて、増加する一方の行政需要に対応するための予算規模拡大とその財源確保など、喫緊の課題があるのも事実です。このため、これまで実施してきた各種事業についても再点検が必要な時期にあると考えております。令和5年度から企画課を新設することとしましたが、こうした状況にも今まで以上に幅広く対応できるものと確信しており、時代に即した組織再編は今後も必要に応じて行ってきたいと考えております。

新年度予算編成につきましては、一般会計の予算総額は32億6,500万円とし、前年度を1億3,900万円上回る、過去最大の

規模としました。（これまでは、平成16年度の32億1,900万円が最大）

町公共施設電気代の値上がりや、物価高騰による物品購入費、工事請負費、委託料等の増加なども少なからず影響しているところです。

町税や地方交付税が増加する見込みであり、川浦川左岸線工事や河川公園「とみぱーく」の駐車場及び休憩施設整備工事、役場庁舎外壁塗装工事、タウンホール大ホール調光操作卓更新工事、富加小学校屋上防水補修工事、山下池下流排水路改修工事など、後年度に廻すことのできない大型事業に取り組みます。

ただし、道の駅整備拡充につきましては、これまで議員各位から様々なご意見をいただいているところでありますが、実現可能性の担保やコストパフォーマンス、ポストコロナに於ける町の各種事業の優先度等を考慮しながら、検討を続けることが必要と判断しており、当初予算には盛り込んでおりません。もう少し、お時間をいただきますようお願いを申し上げます。

さて、今議会に執行部から提案いたします案件でございますが、町条例の一部改正が9件、可茂消防事務組合規約の一部変更に関する協議が1件、町道の認定が1件、令和4年度一般会計及び特別会

計の補正予算が 4 件、そして令和 5 年度当初予算案が 6 件の計 21 件となっております。

条例の一部改正につきましては、

富加町個人情報保護審査会条例の一部を改正する条例では、富加町議会の個人情報の保護に関する条例の制定に伴い、審査会が所掌する事務に富加町議会を追加するもの。

富加町総合計画審議会条例の一部を改正する条例では、企画課を設置することに伴い、庶務担当課を総務課から企画課に改正するもの。

富加町定年前に退職する意思を有する職員の募集等に関する条例では、職員の定年引上げに伴い、定年前募集対象職員の募集年齢を定年から 20 年減じた年齢に改正するもの。

富加町職員の給与に関する条例及び富加町企業職員の給与の種類及び基準に関する条例では、職員に住居手当を支給することについて、所要の改正するもの。

富加町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例では、国が定める児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、安全計画の策定、感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に必要な措置等について、所要の改正をするもの。

富加町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例では、国が定める児童福祉施設の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、安全計画の策定、業務改善計画の策定、感染症及び食中毒の予防及びまん延防止に必要な措置等について、所要の改正をするもの。

富加町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例では、こども家庭庁設置法の施行により、関係法令が改正されることに伴い、条例中の引用部分の改正をするもの。

富加町子ども・子育て会議条例及び富加町認定こども園の設置及び管理に関する条例では、こども家庭庁設置法の施行により、関係法令が改正されることに伴い、条例中の引用部分の改正をするもの。

富加町国民健康保険条例では、健康保険法施行令等の一部を改正する政令が公布されたことに伴い、出産育児一時金の支給額を40万8千円から48万8千円に引き上げる改正をするものでございます。

可茂消防事務組合規約の一部変更に関する協議では、組合事務所の住居表示変更や組合議員の代理者が出席できる等の変更に関する

る協議について、構成市町村議会の議決を求めるものでございます。

次に、町道の認定では、ジャストタウン加治田の宅地造成に伴い、町道の認定を行うものでございます。

次に、令和4年度一般会計補正予算（第12号）につきましては、決算を見据えた中で、4,277万2千円の減額をお願いしております。

主なものは、歳入では、普通交付税や新型コロナ臨時交付金の増額その他、繰越金として前年度実質収支額の未計上分を増額し、ふるさと納税寄付金や基金繰入金等充当財源を減額としております。

歳出では、コロナ臨時交付金事業を含む事務事業の精算による不用額等の減額が主であります。なお、これらに起因し余剰となる額7,512万8千円につきましては財政調整基金として積み増しをお願いするものでございます。

繰越明許費につきましては、鉄道事業費補助金では、長良川鉄道が計画していた車両購入が来年度にずれ込む見込みとなったため繰り越すもの、戸籍情報システム改修業務では、国の標準仕様の確

定が年度末になったため、年度内完成が困難となり、事業費繰越の議決をお願いするものであります。

地方債の補正につきましては、対象事業である MCA 防災無線の購入額が確定したため、これに合わせて借り入れ限度額を減額するものであります。

その他に、国民健康保険、後期高齢者医療及び介護保険の特別会計の補正予算もお願いしております。

いずれも決算を見据えた補正となりますので、よろしくお願いいたします。

次に、令和5年度予算についてでございます。

一般会計につきましては、先に述べましたとおり、32億6,500万円とし、前年度を1億3,900万円（前年比4.4%）上回る、過去最大の規模としました。

歳入では、町税につきましては前年比3.4%増の8億4,200万円ほどを見込んでおります。

これは、令和4年度課税における個人所得の回復傾向や近年の

人口増加等を背景として、個人町民税や家屋の固定資産税が増収する見通しであり、増額としたことによるものであります。

地方交付税は、地方財政計画等に基づき積算しますが、国より示された伸び率等により7,000万円の増額（前年比6.5%）とし、11億4,400万円を見込んでおります。

国庫支出金は、保健衛生費負担金（ワクチン接種対策負担金）や社会資本整備総合交付金の減少等により、全体で2,300万円ほど減（前年比▲8.6%）の2億4,100万円ほどを見込んでおります。

県支出金は、農林水産業費県補助金（元気な農業産地構造改革支援事業、県単かんがい排水事業）等の増加により、全体で2,500万円ほど増（前年比12.3%）の2億2,700万円ほどを見込んでおります。

財産収入は、ジャストタウン加治田の分譲開始に伴い、740万円ほど増（前年比114.1%）の1,400万円ほどを見込んでおります。

寄附金では、ふるさと納税返礼事業について、前年実績等により3,000万円ほど減（前年比▲37.5%）の5,000万円ほどを見込んでおります。

町債は、臨時財政対策債発行可能額の大幅な減額見込等に伴い1,430万円の減（前年比▲23.0%）の4,800万円ほどとなりま

した。

なお、基金繰入金につきましては、歳出に対する不足財源に対し、財政調整基金 1 億 2,700 万円その他、設置目的に沿った事業に対し、まち・ひと・しごと創生基金 2,800 万円及びふるさと納税基金 1 億 1 千 600 万円の計 2 億 7,100 万円をそれぞれ充当しております。また、令和 5 年度より高齢者保健と介護予防の取り組みを一体的な事業として実施するため、広域連合からの委託費として 670 万ほどを繰入金として計上しております。

次に、主な歳出についてでございます。

富加町第 5 次総合計画の基本目標に沿って、主な新規事業・継続事業を申し上げます。

①「健康に暮らせるまちづくり」では

新規事業として、高齢者活動センターの屋根塗装工事に 476 万 3 千円、障がい者・児のための基本的施策・目標・方針を定めるための計画策定業務に 312 万 4 千円、コロナ禍や物価高騰による生活困窮者の増加に対応するための生活福祉相談員雇用に 256 万 7 千円、富加町第 3 期子ども・子育て支援事業計画を 2 か年かけて策定する業務に 493 万 8 千円、とみかこども園及びりんご保育園と

みかに通う園児が使用するオムツを町で支給する事業に 274 万 8 千円、結婚しやすい環境をつくり、少子化対策を図るための結婚新生活支援補助金に 90 万円、継続事業では、新型コロナウイルス感染拡大防止を図るためのワクチン接種事業に 1,111 万 5 千円を計上しました。

②「魅力的な生活空間のあるまちづくり」では

新規事業として、河川公園「とみぱーく」の駐車場及び休憩施設整備工事に 5,500 万円、道路整備事業として前年度に採択された町単工事の施工に 630 万円、継続事業では、重点事業である川浦川左岸線道路整備に 8,500 万円、2 年目となる特定用途制限地域見直し業務に 385 万円、人口増加対策として定住促進奨励金に 1,636 万 8 千円を計上しました。

③「快適で安心安全なまちづくり」では、

新規事業として、川小牧地内の山下池廃止に伴い、大雨による下流域の冠水被害を防止するための排水路改修工事に 2,200 万円、避難行動要支援者システム導入経費に 99 万円、継続事業では、排水対策として井高地内の町道滝田 15 号線側溝改修工事に 1,500 万円、消費期限を迎える災害用備蓄食糧品の買い替えに 154 万 4

千円、セアカゴケグモ駆除委託料として 20 万円を計上しました。

④「豊かな心と文化を育むまちづくり」では、

新規事業として、タウンホール大ホール調光操作卓更新工事に 2,435 万 4 千円、富加小学校中舎屋上防水補修工事に 1,760 万円、同じく体育器具庫トイレ改修工事に 181 万 1 千円、文化財保護及び活用事業として、国史跡に指定された「夕田墳墓群」の保存活用計画策定支援業務を令和 5 年度より 2 力年かけて実施するため、令和 5 年度分として 317 万 7 千円、杉洞 1 号墳の保護範囲を定めるための境界確定及び分筆業務に 136 万 1 千円、継続事業では、町民及び地域住民に生の芸術に接する機会を提供する文化講演事業に 588 万 6 千円を計上しました。

⑤「魅力と活力あるまちづくり」では、

新規事業として、新規就農者のいちご栽培施設整備及び認定農業者のトマト栽培施設整備に対する元気な農業産地構造改革支援事業補助金に 4,276 万 5 千円、町特産品開発及び事業者支援の一環としてプロフェッショナル人材活用事業に 204 万 3 千円、継続事業では、2 年目となる町農業振興地域整備計画の見直し業務に 585 万 9 千円、町内の商工業活性化を図るための創業支援事業補

助金に 100 万円、企業振興奨励金 3 社分で 2,437 万 6 千円を計上しました。

⑥「協働で進める自立したまちづくり」では、

新規事業として、各種行政証明書のコンビニ交付サービスに向けた準備を令和 4 年度に行ってきましたが、本年 4 月から本格運用をスタートすることに伴い 623 万円、役場庁舎の外壁等改修工事に 3,690 万 5 千円、町税滞納等の困難事案を整理するための徴収対策アドバイザー設置にかかる人件費に 198 万 9 千円、令和 6 年に迎える富加町誕生 70 周年記念事業の準備経費に 152 万 2 千円、継続事業では、住民提案型協働事業補助金に 30 万円を計上しました。

以上が、一般会計予算での主な事業でございます。

この一般会計と、3 つの特別会計との予算総額は、46 億 1,500 万円ほどで対前年比 4.1% の増となり、更に水道事業会計及び下水道事業会計を含めた予算総額につきましては、51 億 3,200 万円ほどとなり、前年度を約 1 億 9,500 万円上回る大型の積極型予算といたしました。

以上、本議会に提案いたします議案の概要につきましてご説明させていただきましたが、詳細につきましては、それぞれの担当課長から説明をさせていただきますので、慎重審議をいただき、ご決定いただきますようお願い申し上げます。

最後に本定例会については、現議会の皆様の任期満了前の最後の議会となります。初日ではありますが、改めお礼申し上げます。4年間に亘り富加町政に対し多大なるご貢献を賜り、誠にありがとうございました。町政全般に的確なご指導ご協力得て富加町が現在に至っていることに対し、重ねて御礼申し上げます。来たる4月23日の統一地方選挙の富加町議会議員選挙には再び皆様のお顔が拝見できることを切に願っております。

振り返れば町政全般に涉り様々なご意見やアドバイスを精力的に頂き、現在の富加町を築いてこられたのも、議会の存在があればこそその結果であると考えています。町の大きな目標の一つでもある人口問題についても、他の市町村が大幅な人口減少に苦しむなかで、富加町は増加傾向にあり、この流れが止まることなく継続して現在に至っておるのも、その証明であると考えています。

こういった状況を受け、富加町議会と執行部は人口増加と同様に、他の市町村からの評価も高く、県内でも注目されており一目置かれ

る存在となっています。これも偏に議会の皆様のおかげであり、車の両輪の如く、議会の良識を持った行動により、密接・良好な関係を築いてこられたことの証であり、大変うれしく思っています。

今後も品格と誇りある富加町の創造の為、改めてご協力をお願いし、3月定例会に当たってのご挨拶とさせていただきます。どうか宜しくお願いいたします。